

エマソン、ソローと日蓮仏法の共通性：序論

The Common Points of Emerson, Thoreau and Nichiren Buddhism(Introduction)

松添 寛之

MATSUZOE Hiroyuki

Abstract: This paper considers the common points of Ralph Waldo Emerson, Henry David Thoreau and Nichiren Buddhism. They believed that human possibilities for improving were endless. Their ideas influenced Mohandas Karamchand Gandhi, Martin Luther King, Jr. and others. This paper also refers to the similarities of the ideas and International society for Harmonization of Culture & Civilization.

Key words: Emerson, Thoreau, Nichiren エマソン、ソロー、日蓮

1. はじめに

この小論はエマソン(Ralph Waldo Emerson)やソロー(Henry David Thoreau)の自己信頼¹の思想と日蓮仏法の共通性を論じたものである。彼らはインドの思想ウパニシャッド哲学に接して彼らの哲学を確立したと言える。² 仏教の中でも大乘仏教³の思想に類似しており、他者との関わりを重視し、すべての人間の良心を信じぬく哲学である。ここでは、エマソン、ソローと日蓮大聖人の言葉を並べて、双方の類似性をまとめた。その類似性は主に2つある。一つ目は、自身の無限の力を信じ運命を自分で切り拓く思想であること。二つ目は、自分の幸福と同時に他者の幸福を求める哲学で共通性を論じたものである。彼らはインドの思想ウパニシャッド哲学に接して彼らの哲学を確立したと言あることである。以下具体的に述べる。

2. 内道(ないどう)と外道(げどう)

仏教は内道⁴と呼ばれる宗教である。すべての人の内に仏性が具わっていると説く。それに対して仏教以外の宗教の多くは、自己の外に仏性(神とよばれるような存在)があると説いているように思われる。⁵ エマソンの自己信頼という哲学は仏教と共通していると考えられる。愛知学泉大学教授の山田正雄氏は次のように言っている。

エマソンの自己信頼とは(中略)自己の内なる神を信頼して生きるべきだという哲学である。(中略)エマソンは人間の靈魂(Soul)と宇宙の靈魂(神)が同一概念であるという信念を抱き、(中略)『自然論』を著した⁶

エマソンの哲学は人間の中に神が具わり、宇宙の中に存在する神と同一のものだと捉えている。日蓮大聖人の次の言葉はエマソンの自己信頼に類似している。

我が身に本より自の仏界・一切衆生の他の仏界・我が身に具せり⁷

ここでは、人間の内側および、すべての生あるものに仏が存在すると言っている。仏教とエマソンの哲学は共に、幸せを自己の外にある環境に求めるのではなく、自己に内在する尊大なものを引き出すことを重視する。人間の無限の可能性を示唆している。

3. 人間と社会とのつながり

仏教にはいくつかの宗派がある。日蓮大聖人の仏教は大乗仏教である。自分だけの幸せを求めるのではなく、他者の幸せも求めていく。エマソンの哲学もそれに類似する。エマソンは次のことを言っている。

Happiness is a perfume you cannot pour on others without getting a few drops on yourself.

幸福は香水のごときものである。人に振りかけると自分にも必ずかかる⁸

他人の幸福のために行動することで、自分も幸福の香水を浴びることを意味している。日蓮大聖人もそれに類似することを述べている。

人に物をほどこせば我が身のたすけとなる、譬えば、人のために火をともしれば・我がまへ明らかなるがごとし⁹

人に物を施せば我が身を助けることになることの譬えとして、人のために灯をともしあげると自分も明るくなる。日蓮大聖人の言う灯とエマソンの香水に共通性を見ることができる。

二人の思想は、自分だけが良ければいいという考えではなく、また自己犠牲の精神でもなく、自他共に幸福になることを求める哲学と言える。

4. 人間と環境とのつながり

人間と環境との密接なつながりに関して、日蓮仏法とエマソンの哲学に共通性が見られる。日蓮仏法では環境（依）と自己（正）は切り離せない（不二）存在と捉える。¹⁰ 一方エマソンの哲学に影響を受けたソローの自然観について山田氏は次のように言っている。

ソローは自然を自我意識の反映、すなわち自我意識それ自体が投影された像とみなした¹¹

自己と環境が一体という考えに立つと、環境破壊は自分自身を破壊することを意味する。ソローの著書『森の生活』¹²はその後、環境保護運動に大きな影響を与えることになる。

5. 20世紀の世界への影響

エマソンとソローの思想は20世紀を動かす原動力となった。インドのマハトマ・ガンジー(Mohandas Karamchand Gandhi)による非暴力の独立闘争¹³、アメリカのマーチン・ルーサー・キング博士(Martin Luther King, Jr.)の公民権運動¹⁴、レイチェル・カーソン博士(Rachel Louise Carson)の環境保護運動¹⁵など多くの民衆運動に影響を与えた。彼らの思想が世界に与えた影響について山田正雄氏は次のように言っている。

経済的拡大の時代に価値ある生き方を説き、物質文明の時代に自然と文明の調和と自然環境保護の重要性を主張し、黒人奴隷制を巡って民主主義のあるべき姿を追求して示唆し、国際文化の視点から東西思想の融合化による世界人類の平和を希求した¹⁶

自己信頼の思想は自己と他者、社会、そして自然とのあるべき関係について模範を示していると言える。

6. おわりに

この思想は一人の人を大切にし、常に対話を重視し相手を信じぬくところにある。またエマソン協会元会長サーラ・ワイダー氏も対話の重要性を主張している。¹⁷ 仏教思想と自己信頼の思想は、共に一人の人間の存在がいかに大きいかを伝えている。創価学会 SGI 会長池田大作氏は次のことを言っている。

一人の人間における偉大な人間革命は、やがて一国の宿命の転換をも成し遂げ、さらに全人類の宿命の転換をも可能にする¹⁸

この考えはソローの『市民の反抗』¹⁹との共通性が見られる。自分自身が成長しながら他者と積極的に関わっていく生き方を唱え、自ら実践していく点でエマソン協会と創価学会 SGI の哲学、さらに国際融合文化学会の設立の趣旨とかなり一致するように考えられる。これらの共通点について、今後考察を進める考えである。

脚注

- 1 山田正雄著『ソロー《ウォルデン》自己実現』p.242
- 2 同著 p.15 p.65
- 3 大乘仏教 一切衆生を成仏させるために利他の菩薩道を説いた教え
- 4 内道 仏教のこと。『仏教哲学大辞典』P.1234
- 5 『仏教哲学大辞典』(p.401)によるとインドにおいて仏教者が仏教以外の教門を「外道」と呼んだ。つまり自身の外に神のような尊大なものを求めた。
- 6 山田正雄著『ソロー《ウォルデン》自己実現』p.242
- 7 『日蓮大聖人御書全集』p.403
- 8 <https://meigen-ijin.com>
- 9 『日蓮大聖人御書全集』p.1598
- 10 「依」は環境。「正」は衆生の心身。環境と人は不二で、別れて存在しない。
- 11 山田正雄著『ソロー《ウォルデン》自己実現』p.247
- 12 原作は *Walden; or Life in the Woods*, 1854 年
- 13 ロナルド・ボスコ、ジョエル・マイアソン、池田大作『美しき生命 地球と生きる』 2006 年 8 月 p.119
- 14 同著 p.119
- 15 同著 p.119
- 16 山田正雄著『ソロー《ウォルデン》自己実現』p.281
- 17 『聖教新聞』2019 年 7 月 5 日
- 18 池田大作著『人間革命』第 1 巻「まえがき」
- 19 Henry David Thoreau *Civil Disobedience*, 1849

参考文献

仏教哲学大辞典編纂委員会『仏教哲学大辞典』第三版 創価学会 2001 年 5 月
ヘンリー・D・ソロー 佐渡谷重信 訳 『森の生活』講談社学術文庫 1991 年 3 月
堀日亭編集『日蓮大聖人御書全集』2003 年 2 月 創価学会
ロナルド・ボスコ、ジョエル・マイアソン、池田大作『美しき生命 地球と生きる』 2006 年 8 月
山田正雄『ソロー・《ウォルデン》・自己実現』 大阪教育図書 2010 年 6 月
『聖教新聞』2019 年 7 月 5 日
<https://meigen-ijin.com>